

くちなしの実入り うなぎいも クリームコロッケ販売



奥浜名湖商工会は、常葉大浜松キャンパス経営学部の地域貢献サークル「Cocoa（ココア）」と浜松市浜名区三ヶ日町の鮮魚仕出し総菜製造「魚兼商店」との産学連携事業で、新商品「くちなしの実入りうなぎいもクリームコロッケ（仮称）」を作った。4月28日と5月26日の2日間、同市中央区村櫛町の浜名湖花博2024浜名湖ガーデンパーク会場で限定販売する。
(中野吉洋)

28日と来月26日 ガーデンパーク



コロッケのたね作りに取り組む常葉大の学生ら。浜松市浜名区三ヶ日町の魚兼商店で

常葉大生ら考案、クイズ催しも

花博を盛り上げる一助にと、ココアのメンバーが1月ごろから地元ならではの食材を使った商品を考え、ウナギの頭や骨などを肥料に栽培した浜松特産のサツマイモ「うなぎいも」のクリームコロッケを提案。遠州浜名湖コロッケ大会の人気投票で1位の実績がある魚兼商店の山内章さん(47)の協力を得た。

山内さんはムラサキイモで試作し、花博だけに「花」をテーマにするためクちなシの実を取り入れた。ホワイトソースが少し黄色に染まるのが特徴。繊維が口に残らないよう丁寧に戻し、イモ本来の味が牛乳で消えないように整え、甘みを生かしている。

19日夕方にはココアの2年生6人が魚兼商店を訪れ、コロッケのたね作りに取り組んだ。木曾七海さん(19)と名倉羽奏さん(19)は「俵形に作るのは苦労したが楽しい」「まだ仮称なのでネーミングや値段を決め、当日用意する奥浜名湖クイズも盛り上げてほしい」と話した。

当日はイベント広場の奥浜名湖商工会魚兼商店ブースで販売する。奥浜名湖クイズは28日午後1時、5月26日午後2時に屋外ステージであり、各日全問正解者の中から20人にコロッケを贈る予定。